

おくすりの名前

(手技確認における8つのポイント※)

※(一社)吸入療法アカデミー方式

- ①デバイス保持(垂直) ②カウンター指差し確認 ③通気口の位置確認 ④ボタン・レバー・カバー操作は最後までしっかり行い指を離す ⑤口角を閉じる ⑥吸い方(ゆっくり深く) ⑦息止め(指折り5つ) ⑧うがいは必ず行う(ガラガラ、ブクブク各3回)



- ・カウンターが0になった回の吸入が終わりでしたら、次回からは新しい吸入器を使用して下さい
- ・カウンターの無いものは専用の残量計又は残数確認シールで確認できる

《吸入映像》※1 (毎日の操作)



*あなたのウイークポイントにチェック印していただきますので参考にしてください

・主薬と噴霧ガスを均一にするため吸入器を振りますが、患者の混乱を防ぐため振る必要のないものも全て振ると統一する

<p>① 薬剤の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 開封時は、試し噴霧を() 行う □ 薬剤セット時の操作はボンベの底が上になるように垂直に持ち行う □ カウンターで残量確認する(カウンター付のもの) □ スペーサーと吸入器のキャップを外す □ 吸入器をよく振る(A) □ ボンベの底が上になるように垂直にスペーサー(フローインジケータが上)へ取り付ける(B) 	<p>A</p> <p>よく振る</p>	<p>B</p> <p>・垂直に持ち操作しないと正確な1回分量がセットされない</p>
<p>② 息吐き</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 無理のない程度に息を吐き一旦止める(スペーサーの吸入口には息を吹きかけない) 		<p>呼気量≒吸気量</p> <p>・息吐きをしないとしっかり吸えない</p>
<p>③ 吸入</p> <ul style="list-style-type: none"> □ スペーサーの吸入口をくわえ、ボンベを1回押し薬剤を噴霧後、口角を閉じ、3秒間ほどかけて、ゆっくり深く、最後まで息を吸い込む □ マスク使用時は顔に密着させ5回程度(15秒程度)呼吸を繰り返す(④⑤は不要) 	<p>吸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・深呼吸するイメージで吸う ・1回の吸入ごとに1回噴霧する ・吸入に合わせて、フローインジケータが動いていることを確認します ・マスク使用時は鼻呼吸にならないように注意する
<p>④ 息止め</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 		<p>・深くとは「長く吸う」と解釈する</p> <p>・トレーナー(笛)使用時は、安定した音が長く続くように指導する</p> <p>速すぎると音が止まる設計となっている</p> <p>・「深呼吸をする」イメージ・速さで吸い、肺の奥まで届けると説明すると伝わりやすい</p> <p>くの薬を定着させるため</p>
<p>⑤ 息吐き</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 鼻からゆっくりと息を吐く 	<p>吐</p>	<p>・口から吐くと速くなることがある</p>
<p>繰返し</p> <p>・吸入口に息を吹きかけないようにする意味も込めて鼻から抜くことが良い</p> <p>・ステロイドに限っては鼻腔内における抗炎症作用が期待できるとの報告がある</p> <p>吸入後に鼻から息を吐き出すことで気管支などに定着できなかった薬が鼻の中に定着する</p> <p>その為、吸入後に鼻から息を吐き出すことでアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に効果が期待できる</p>		
<p>⑥ 後片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 吸入器をスペーサーから外し、吸入器およびスペーサーのキャップをしっかりと閉じる 		<ul style="list-style-type: none"> ・キャップを閉じる前に吸入口を拭く ・1週間に1度程度スペーサーを洗浄して下さい。
<p>⑦ うがい</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 吸入後はガラガラうがい、ブクブクうがいを各3回ずつ行う 	<p>ガラガラ</p> <p>ブクブク</p>	<p>・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す</p>

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする
それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うようにする

(企画)より著者の許可を得て使用

保険調剤薬局名(薬剤師名) : _____ 年 _____ 月 _____ 日